

# 新テロ特措法に反対する要請書

\_\_\_\_\_ 様

2007年 月 日

要請者 \_\_\_\_\_

## 【要請項目】

- － 新テロ特措法案を撤回し、インド洋から、自衛隊を撤退させること
- － イラク特措法を廃止し、イラクから自衛隊を撤退させること

## 【要請趣旨】

テロ対策特別措置法が2007年11月1日で期限切れとなりました。

これまで延長を繰り返してきたテロ特措法は、6年前の9・11テロの後、アメリカが国連憲章をふみにじっておこなった「報復戦争」を受けて、米軍などがアフガニスタンで続ける武力活動を日本の自衛隊が支援する法律です。自衛艦がインド洋で米艦船などへ給油活動をおこなってきましたが、混迷を深めるアフガニスタンの実態は、戦争ではテロはなくならないことを示しています。また武力の威嚇・行使を禁じた日本国憲法をじゅうりんするものです。

政府は、派遣された自衛艦がどういう活動をしているのかをはじめ、さまざまな米軍支援の実態を国民にまともに明らかにしないまま、給油支援を継続しようとしています。これは、シビリアンコントロール（文民統制）のうえからも重大な問題です。

アメリカの戦争に協力するために、いわれるままに自衛隊を海外に次つぎに派兵することは許されません。新テロ特措法案を撤回し、さらにイラク特措法も廃止して、インド洋からも、イラクからも自衛隊を撤退させるべきです。憲法の平和原則を生かした平和と復興への貢献を強めることを求めます。

以上